

情報公開文書

研究の名称	網膜中心動脈閉塞症患者の各治療法の結果のカルテ調査
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 眼科 教授 林篤志
研究の概要	<p>【研究対象者】 網膜中心動脈閉塞症で富山大学附属病院眼科受診患者さんを対象とします。2017年1月から2019年9月までに受診し保存療法を施行した患者さん、2020年9月から2022年12月までに受診し高圧酸素療法を施行した患者さん、2019年3月までにtPA注入による網膜血管内手術を施行した患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 網膜中心動脈閉塞症は10万人に8.5人に発症と稀な疾患であるが、急激な視力低下をきたす予後不良な疾患です。現在様々な治療方法が検討されているが、未だ治療法が確立していない疾患です。今回保存療法、高圧酸素療法、硬膜血管内tPA注入療法を比較検討することで治療効果を検討することを目的といたします。</p> <p>【研究の方法】 2017年1月から2019年9月までに当科を受診し保存療法を施行した13例13眼、2020年9月から2022年12月までに当科受診し高圧酸素療法を施行した10例11眼、2019年3月までにtPA注入による網膜血管内手術を施行した9例9眼を対象とした受診時と最終受診時の視力データを比較します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2024年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	治療前後の視力を比較検討します。高岡市民病院を共同研究機関とし情報提供を行います。また、患者データは匿名化され、個人情報切り離されています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 眼科教授 林篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 眼科医局 076-434-7363 E-mail ahayashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 眼科教授 林篤志</p>